

# 2020年度事業報告書

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

## I 事業期間

2020年4月1日～2021年3月31日

## II 事業の成果

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って事業計画の大幅な見直しを迫られたが、関係団体と検討を重ねながら、以下の成果をあげることができた。

### 1 野武士ジャパン運営サポート

東京と大阪で認定NPO法人ビッグイシュー基金のサッカーチーム「野武士ジャパン」の通常練習（各月2回）の運営協力を行い、計20回の活動にのべ197人が参加した。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、練習の中止、オンライン開催、感染防止対策を徹底した上での開催など、柔軟な対応ができるようサポートした。その過程でソーシャルディスタンスに配慮した練習運営ノウハウを蓄積することができた。

新型コロナウイルスの感染拡大や雨天のために通常練習が中断することが多かったため、オンラインでエクササイズを行うリモートワークアウトプログラム「Stay Home! Stay Active!」を計5回実施し、のべ33人が参加した。そのうち8月8日は、大阪と東京の野武士メンバーが全国のパートナー団体に参加を呼びかけたオンライン交流会とし、8団体から14名が参加した。同交流会参加者の意見をもとに、ダイバーシティカップに代わる国内事業の企画を、ボトムアップで作りに上げることができた。

これらの機会を通じて、人的交流が激減する中で普段以上に社会的に孤立しやすい当事者が増えており、対面での交流の機会が非常に貴重であることが確認できた。また情報通信環境によって、オンラインでの機会へのアクセスできる人とできない人の格差があることが明らかになり、その解消が今後の優先課題のひとつであることが確認できた。

### 2 ホームレス・ワールドカップ・オンラインイベント

毎年開催されているホームレス・ワールドカップが感染拡大の影響で中止となり、代わって行われたオンラインイベント「Homeless World Cup Day」に参加することができた。

オンラインでのリフティング大会「Keepy Uppy Cup」のために、各地のパートナーから動画を集めて選考会を行い、4団体から男女計7名が日本代表として出場した。また野武士ジャパンのメンバー1名がPR動画「Keep the Ball Rolling」に出演した。

男子は強豪国が揃う予選リーグを勝ち抜いて決勝トーナメントに進出を果たし、女子は初めて日本代表を送り出すことが出来た。また、狭義のホームレスの定義におさまらず、多様な背景のメンバーから日本代表を選考できたことは、将来の本大会出場にとって意義が大きい。

### 3 ダイバーシティ・プレリーグ

ダイバーシティカップ東京大会開催のために、東京ボランティア・市民活動センターのゆめ応援ファンドから助成を受けた。感染拡大を受け、一極集中の大会形式を取りやめる代わりに、参加予定だった団体と協働して各地で分散型の交流イベント「ダイバーシティ・プレリーグ」を企画・実施した。近い将来の目標である全国リーグ化へのステップとして、全国各地のパートナーとの協働および企画運営力を強化する機会となった。

大阪ではスポーツ法人ENJINと大阪野武士の交流会、東京では大田区的女子中学生サッカーチームPixy大田との交流会を実施した。感染防止対策はもちろん、ソーシャルディスタンスを保ったフットサルの練習や試合の方式を考案した。合計で46名が参加した。

沖縄では一般社団法人daimonを中心に子どもの居場所づくりを行なっている団体スタッフがeSportを通じて交流し、その様子をYouTube配信した。新型コロナウイルス感染症の流行で緊迫する支援現場にも、純粋な楽しみの機会が必要不可欠であることを支援者同士で再確認することができたとの報告があった。

宮城、千葉、神奈川でそれぞれ企画していたプレリーグは、開催予定日の感染状況を鑑み、中止とした。神奈川のフットサル交流会に参加予定だった3団体の代表者には、準備段階での活動状況や成

果について振り返る座談会形式の聞き取りを行った。実施に至らなかったにも関わらず、当日に向けてそれぞれの団体に参加者を募り、チームビルディングのミーティングや練習を重ねるなかで、それぞれの居場所における支援者と若者、あるいは若者同士の関係性に変化が生じ、若者が少しずつ自信を掴んでいく様子が報告された。

#### 4 サタデー・ナイト・ダイバー

ダイバーシティカップの開催趣旨のひとつであるパートナーおよび当事者間の交流機能を補うため、同助成を利用して動画配信形式のオンラインイベント「サタデー・ナイト・ダイバー」を5回実施した。

9団体から社会的困難を抱える当事者を含む16人が登壇し、①トゥレット／チック症候群②ホームレスを経験した当事者のスポーツ・文化活動③精神障害当事者のフットサル活動④多様な困難を抱える東北の若者支援におけるサッカー⑤女子サッカーと女性のエンパワメントの5つのテーマについて相互理解を深めた。計5本のYouTube動画について、合計1698回（2021年3月31日時点）の視聴を得た。

#### 5 各地のパートナー団体との協働

理事および主要なパートナー団体の代表者を集めて、およそ月1回のオンライン会議で活動状況の共有や事業の企画検討を行った。また、企画ごとに個別のパートナー団体と密に連絡を取り合った。

7月19・25日には、千葉『共に暮らす』フットボール協会が主催する「オープンリーグ」を協力団体としてサポートし、事務局から2名が当日の運営ボランティアとして参加した。また事前事後のミーティングにも、継続的に参加した。

パートナー間のネットワークを利用した居場所づくり応援事業として「ボールプレゼント企画」を実施し、宮城・千葉・神奈川・沖縄の計6団体間の連携を促すことができた。

これらの機会を通じて、パートナー団体との信頼関係が深まり協働体制が強化されたことは、今年度の大きな成果である。

#### 6 調査・研究・広報

HPの作成、アンバサダーとの打合せ、各種メディアへの取材対応や記事執筆、SNSでの情報発信、YouTubeチャンネルを通じた動画配信、協力団体への聞き取り調査を行った。

新しく団体ホームページを立ち上げたことで、情報発信の基盤が整い、個人や団体から寄付やボランティア、提携・協力などの問合せが集まりやすくなった。SNSやニュースレターと連動した運用が課題として把握できた。

#### <メディア掲載一覧>

- ・月刊『社会教育』2020年12月号「ダイバーシティサッカーの「場づくり」とは」(11/17)
- ・雑誌『SHUKYU Magazine』No9「野武士 JAPAN | サッカーを通じて自立へのきっかけを作る」(11/27)
- ・JAMMIN「スポーツを通じ「肩と肩とを並べる」ことで、ホームレスやひきこもり、生きづらさを抱える人の「居場所」になる～NPO法人ダイバーシティサッカー協会」(12/21)
- ・大阪日日新聞「人とつながる居場所 広がるダイバーシティサッカー」(1/12)
- ・ビッグイシューオンライン
  - ・「体が勝手に動く/言葉が出てしまう-『トゥレット症』を知っていますか？ 出会ったときは“温かい無視”を」(11/15)
  - ・「ホームレスの人がスポーツやアートを楽しむのは『贅沢』ではなく『文化的な最低限度の生活』の第一歩」(12/24)
  - ・「“平日の昼間にサッカーをしていることを受け止められる社会にしたい”。サッカーで居場所を作る東北の団体の想いとは」(1/7)
  - ・『『ソーシャルフットボール』をご存じですか？ うつ病や統合失調症、パニック障害などの精神疾患・精神障害のある人など、多様な人が集いフットサルを楽しむ場」(1/18)

### III 事業の実施状況

#### 1 特定非営利活動に係る事業

- (1) スポーツや文化・芸術活動を通じた居場所づくり応援事業  
(内容)

・野武士ジャパン運営サポート

毎月第2、第4土曜日に東京（@住吉公園、9:30-11:30）と大阪（扇町公園、18:00-20:00）で通常練習の運営を支援

雨天時及び緊急事態宣言下は中止し、オンラインでStay Home! Stay Active!を実施

・ボールプレゼント企画

一般社団法人 daimon から千葉『共に暮らす』フットボール協会、よこはま北部ユースプラザ、相模原地域若者サポートステーション、NPO 法人ゆどうふ、まきばフリースクールに計25個のボールを送付（10月から12月の間で随時）

・サタデー・ナイト・ダイバー（オンライン動画ライブ配信）

第1回「トゥレット症候群ってなんだ？ 当事者の経験をスポーツを通じて考える」（10月31日実施）

第2回「ホームレスになぜスポーツや文化活動は必要か？～山友会、野武士ジャパンの事例から～」（11月21日実施）

第3回「東北で『わかもの』とサッカーで居場所をつくる～排除に抗するサッカー vol.1～」（12月5日実施）

第4回「精神障がい者フットボールとは何なのか？～排除に抗するサッカー vol.2～」（12月19日実施）

第5回「Women Empowerment と女子サッカー」（3月9日実施）

（事業の対象者）ホームレス、うつ病をはじめとした精神障害、知的障害、LGBTQ、移民や難民、ギャンブルや薬物の依存症、不登校やひきこもり経験者など様々な社会的背景、困難を抱える人々

（収 益） 0円

（費 用） 161210円

(2) ダイバーシティサッカー大会（国内事業）

（内容）

・千葉『共に暮らす』フットボール協会主催オープンリーグ運営協力

オンライン・オープンリーグ 運営サポートスタッフ2名参加（7月19日）

オープンリーグ@千葉ポートアリーナ 運営サポートスタッフ2名派遣（7月25日）

・ダイバーシティ・プレリーグ

宮城 NPO 法人まきばフリースクール主催 MKB カップ（11月3日予定、実施せず）

大阪 野武士大阪とスポーツ法人 Enjin によるフットサル交流会@フットメッセ天下茶屋（11月28日実施）

千葉 千葉『共に暮らす』フットボール協会による「出前だよ！ボールで遊ぼう！」（2月27日予定、実施せず）

神奈川 よこはま北部ユースプラザ、相模原地域若者サポートステーション、NPO 法人ゆどうふによるフットサル交流会（3月13日予定、実施せず）

東京 野武士東京と Pixy 大田によるフットサル交流会@MIFA 豊洲（3月27日実施）

沖縄 一般社団法人 daimon 主催 eSport 交流会 daimon.TV Vol.1@FM 那覇（3月28日実施）

（事業の対象者）ホームレス、うつ病をはじめとした精神障害、知的障害、LGBTQ、移民や難民、ギャンブルや薬物の依存症、不登校やひきこもり経験者など様々な社会的背景、困難を抱える人々

（収 益） 0円

（費 用） 300609円

(3) ホームレス・ワールドカップ（国際大会）など海外大会への選手派遣事業

（内容）

・Homeless World Cup Day 参加

パートナー団体に Keepy Uppy Cup 日本代表選考参加選手募集、動画素材作成（5月）

Keepy Uppy Cup 日本代表選考オンライン会議（5月16日）

Homeless World Cup Day 当日（7月6日）

代表7選手に参加証を送付(9月1日)

(事業の対象者) ホームレス、うつ病をはじめとした精神障害、知的障害、LGBTQ、移民や難民、ギャンブルや薬物の依存症、不登校やひきこもり経験者など様々な社会的背景、困難を抱える人々、およびその支援者や活動に関心のある市民

(収益) 0円  
(費用) 757円

#### (4) 調査・研究・広報事業

(内容)

- ・神奈川プレリーグ参加予定3団体オンライン座談会  
よこはま北部ユースプラザ、相模原地域若者サポートステーション、NPO法人ゆどうふのスタッフを対象にオンラインで実施(3月18日)
- ・チャリティTシャツ販促協力  
Jammin 合同会社が制作販売したTシャツの販促協力(12月21日から28日)
- ・その他  
HPの運用、アンバサダー・協力団体との打合せ、各種メディアへの取材対応や記事執筆、SNSでの情報発信、YouTubeチャンネルを通じた動画配信などを適宜実施

(事業の対象者) ホームレス、うつ病をはじめとした精神障害、知的障害、LGBTQ、移民や難民、ギャンブルや薬物の依存症、不登校やひきこもり経験者など様々な社会的背景、困難を抱える人々、およびその支援者や活動に関心のある市民

(収益) 0円  
(費用) 96474円

#### IV 社員総会の開催状況

2020年度通常総会

(日時) 2020年6月3日 20時00分から21時00分  
(場所) 兵庫県西宮市...オンライン開催(Zoomを使用) ※議長自宅所在地  
(社員総数) 12名  
(出席者数) 10名  
(内容) 第1号議案 2019年度事業報告・決算案の件  
審議の結果、参加社員の挙手評決により可決  
第2号議案 2020年度事業計画・予算案の報告  
第3号議案 議事録署名人の選任の件

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

2020年度第1回理事会

(日時) 2020年6月3日 19時00分から19時31分  
(場所) 兵庫県西宮市...オンライン開催(Zoomを使用) ※議長自宅所在地  
(理事・監事総数) 理事5名 監事2名  
(出席者数) 理事4名 監事2名  
(内容) 第1号議案 2019年度事業報告・決算案の件  
審議の結果、参加理事の挙手評決により可決  
第2号議案 2020年度事業計画・予算案の件  
審議の結果、参加理事の挙手評決により可決

2020年度活動計算書

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

2020年4月1日から2021年3月31日まで (単位 円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	268,000	388,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	93,611	93,611
3. 受取助成金等		
受取助成金	458,000	458,000
4. 事業収益		
ダイバーシティサッカー大会事業収益	0	0
5. その他収益		
受取利息	3	
雑収益	10,000	10,003
経常収益計		949,614
II 経常費用		
1. 事業費		
人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
通勤費	0	
人件費計	0	
その他経費		
業務委託費	0	
諸謝金	315,000	
印刷製本費	0	
会議費	0	
旅費交通費	59,029	
通信運搬費	8,230	
消耗品費	277	
家賃(光熱費含)	0	
賃借料	114,000	
保険料	15,720	
諸会費	6,000	
支払手数料	4,980	
広告宣伝費	35,814	
その他経費計	559,050	
事業費計		559,050
2. 管理費		
人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
通勤費	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
その他経費		
業務委託費	0	
印刷製本費	0	
会議費	0	
旅費交通費	0	
通信運搬費	128,472	
消耗品費	8,420	
家賃(光熱費含)	0	
租税公課	2,100	
賃借料	0	
諸会費	13,200	
支払手数料	1,420	
広告宣伝費	215,400	
その他経費計	369,012	
管理費計		369,012
経常費用計		928,062
当期正味財産増減額		21,552
前期正味財産額		535,553
次期正味財産額		557,105

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 消費税等の会計処理：消費税等の会計処理は、税込方式によっています。  
なお、当法人は消費税免税事業者です。

2. 事業費の内訳

事業費内訳	居場所づくり 応援事業	国内大会事業	国際大会事業	調査研究 広報事業	事業費計
人件費					
給料手当	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0
通勤費	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0
その他経費					
業務委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	150,000	105,000	0	60,000	315,000
印刷製本費	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	59,029	0	0	59,029
通信運搬費	7,750	0	480	0	8,230
消耗品費	0	0	277	0	277
家賃(光熱費含)	0	0	0	0	0
賃借料	0	114,000	0	0	114,000
保険料	0	15,720	0	0	15,720
諸会費	0	6,000	0	0	6,000
支払手数料	3,460	860	0	660	4,980
広告宣伝費	0	0	0	35,814	35,814
その他経費計	161,210	300,609	757	96,474	559,050
事業費計	161,210	300,609	757	96,474	559,050

## 2020年度貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

(単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	574,460		
流動資産合計		574,460	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			574,460
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	17,355		
流動負債合計		17,355	
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			17,355
III 正味財産の部			
前期正味財産額		535,553	
当期正味財産増減額		21,552	
正味財産合計			557,105
負債及び正味財産合計			574,460

## 2020年度財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

(単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	11,263		
ゆうちょ振替	321,197		
普通預金(ゆうちょ銀行)	242,000		
流動資産合計		574,460	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			574,460
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	17,355		
流動負債合計		17,355	
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			17,355
正味財産			557,105